

令和5年度 全国学力・学習状況調査について

(本調査は、全国悉皆調査で第6学年児童を対象に4月に実施されたもの)

1 学力調査に関する結果の概要

【国語】

- 文章を読んで理解したことに基づいて自分の考えをまとめる力が身に付いている。
- インタビューの様子から、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの内容を捉える力が身に付いている。
- 文脈に合う正しい漢字を書いたり、日常生活場面に合う敬語を選んだりすることに課題がある。

【算数】

- 伴って変わる2つの数量の関係について知りたい数量の大きさを求めたり言葉や式で説明したりする力が身に付いている。
- () を用いた式や加法と乗法の混合した式を場面と結び付けて読み取ったり、正しく計算したりする力が身に付いている。
- 百分率で表された割合について理解したり、高さが等しい三角形について底辺と面積の関係を考えたりすることに課題が見られる。

2 児童質問紙に関する結果の概要

- 今住んでいる地域の行事に楽しんで参加している児童が多い。
- 毎日同じ時間に起き朝ご飯を食べている児童が多い。
- 自分のよいところやできていること等、自分を肯定的に捉えようとする意識に課題がある。
- 学校や家庭で自主的・自発的に学習に取り組む意識に課題がある。

3 取組についての評価

(1) 教科に関する取組

① 効果があった取組

- ・全校での授業改善の推進（聞く・書く・話す・交流するといった言語活動を取り入れた授業）
- ・計画的なモジュール学習
- ・全校での名人の取組（ノート名人、ふり返り名人、話し方マスター）

② 今後の学力向上に向けた取組

- ・単元全体を見通したりふり返ったりして、自分の学びの足跡を自覚する授業づくり
- ・全体への支援と個に応じた適切な支援・個に応じた学習内容の提供をバランスよく取り入れた授業づくり

(2) 児童質問紙の内容に関する取組

① 効果があった取組

- ・児童会縦割り活動の実施
- ・毎日の読書活動タイムの設定

② 今後の学力向上に向けた取組

- ・生活科・総合的な学習の時間を系統的に実践し評価改善する。
- ・学級活動を活性化させ、自発的・自立的な学級づくりを実践する。